

# JIS

## ゴム及びプラスチックホース試験方法－ 第2部：ホース及びホースアSEMBリの 耐圧性試験

JIS K 6330-2 : 2024

(JRMA/JSA)

令和6年9月20日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立大学法人信州大学
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 10.3.20 改正：令和 6.9.20

官 報 掲 載 日：令和 6.9.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験雰囲気温度	2
5 装置及び器具	2
6 試料	3
6.1 試料の形態	3
6.2 試料の数	3
7 耐圧性試験における加圧操作	3
7.1 一般事項	3
7.2 耐圧試験, 加圧寸法変化試験及び破裂試験における加圧操作	3
7.3 漏れ試験における加圧操作	4
7.4 気密試験における加圧操作	5
8 耐圧性試験	5
8.1 耐圧試験	5
8.2 加圧寸法変化試験	6
8.3 破裂試験	8
8.4 漏れ試験	9
8.5 気密試験	9
9 試験結果のまとめ方	9
10 試験報告書	10
附属書 JA (参考) 寸法測定に用いる計測器	11
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	12
解 説	15

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ゴム工業会（JRMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS K 6330-2:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS K 6330** 規格群（ゴム及びプラスチックホース試験方法）は、次に示す部で構成する。

- JIS K 6330-1** 第 1 部：ホース及びホースアセンブリの寸法測定
- JIS K 6330-2** 第 2 部：ホース及びホースアセンブリの耐圧性試験
- JIS K 6330-3** 第 3 部：ホース及びホースアセンブリの耐負圧性
- JIS K 6330-4** 第 4 部：低温雰囲気下における柔軟性
- JIS K 6330-5** 第 5 部：電気試験
- JIS K 6330-6** 第 6 部：層間はく離強さの求め方
- JIS K 6330-7** 第 7 部：静的条件下での耐オゾン性評価
- JIS K 6330-8** 第 8 部：衝撃圧力試験
- JIS K 6330-9** 第 9 部：ホース及び管の曲げ特性
- JIS K 6330-10** 第 10 部：液体透過性試験
- JIS K 6330-11** 第 11 部：ホース外面層の摩耗試験

# ゴム及びプラスチックホース試験方法— 第2部：ホース及びホースアセンブリの耐圧性試験

## Rubber and plastics hoses and hose assemblies—Part 2: Hydrostatic testing

### 序文

この規格は、2021年に5版として発行されたISO 1402を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で、附属書JAは、対応国際規格にはない事項である。また、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

### 1 適用範囲

この規格は、ゴム及びプラスチックホース（以下、ホースという。）並びにホースアセンブリの耐圧性試験方法について規定する。この規格で取り扱う耐圧性試験は、耐圧試験、加圧寸法変化試験、破裂試験、漏れ試験及び気密試験を指す。

**警告** この規格に基づいて試験を行う者は、通常の実験室等での作業に精通していることを前提とする。この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置をとらなければならない。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 1402:2021, Rubber and plastics hoses and hose assemblies—Hydrostatic testing (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 6250 ゴム—物理試験方法通則

**注記** 対応国際規格における引用規格：ISO 23529, Rubber—General procedures for preparing and conditioning test pieces for physical test methods

JIS Z 8401 数値の丸め方

ISO 7751, Rubber and plastics hoses and hose assemblies—Ratios of proof and burst pressure to maximum working pressure